

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
1-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般経費	05	01	01	03	01
細事業名		求人情報サービス事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井清宏
担当者の氏名	西木勇互

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ① 定住の促進 施策方針 2 雇用促進対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 近年の厳しい雇用情勢改善の観点から、市民が最新の求人情報を普段の生活の中で身近に閲覧できる環境を整備することで、市民の求職活動を支援し、早期就職を促す。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) システムアクセス数60,000件(平成17年度より累積)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市内の58公共施設に設置してあるタッチパネル式情報端末機にて、求人情報閲覧サービスを実施することで、離職者を中心として市民に最新の求人情報を公開した。(21年度公開求人件数:9,211件)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) システムアクセス数3645件 システムアクセス数累積33,980件(平成17~21年度)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	13	241	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		241
事業費合計		241	合計		241

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 求人入力を内職友の会に業務委託し、密接な連携を行なうことで、最新の求人情報を常に早い段階で公開できている。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 京丹後市内職友の会への業務委託による、入力件数実績に基づくコストであるため、削減の余地は特にない。 ○ × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 理由 離職者・求職者に対し、公共職業安定所以外で最新の求人情報を提供することは早期就職を図る上で重要であり、事業の継続を行なう。 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 B A 事業拡大 理由 京丹後市内58公共施設に設置している情報端末機を用いて求人情報の継続公開を行なう。利用者がより見やすく、繰り返し利用の機会がもてるよう、ページの修正など随時改善を行なう。また豊岡市との情報共有事業においても、密接な連携を行い、広域地域の雇用安定を図る。 B 現状維持 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	05	01	01	06	01
細事業名		地域雇用環境整備特別対策事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井清宏
担当者の氏名	下戸裕子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ① 定住の促進 施策方針 2 雇用促進対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 雇用・就業機会の創出を図る。 事業にに従事する全労働者数 200人 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 交付金をもとに、緊急雇用創出事業(直接雇用分15事業)、緊急雇用創出委託事業(放置竹林等拡大防止対策事業他4事業)、ふるさと雇用再生委託事業(地域特産品販路開拓事業他4事業)を実施して、雇用・就業機会の創出を図った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 事業にに従事する全労働者数 78人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	4	2,517	国庫支出金	
	7	18,590	府支出金	緊急雇用補助金等 61,037
	11	1,685	起債	
	12	820	分担金・負担金	
	13	37,443	その他	
	14	126		
	18	59		
事業費合計		61,240	一般財源	203
			合計	61,240

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出できた。 × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 失業者の生活の安定を図るためのものであり、削減の余地はない。 × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出する必要がある。
	事業規模の方向性 A A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を更に創出する必要がある。

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
1-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	05	01	01	07	01
細事業名		就労支援事業				

担当部局	担当課長の氏名
商工観光部	新井清宏
担当課等	担当者の氏名
産業雇用総合振興課	下戸裕子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ① 定住の促進 施策方針 2 雇用促進対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 一般求職者、未就職卒業者及び来春卒業予定者、Uターン希望者等に対して、事業所の情報を直接伝える場を設け、地元への就職を促進する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 就職フェア参加者:350人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 一般求職者、未就職卒業者及びUターン希望者等を対象に、就職フェア(福祉職場等の魅力を直接伝える場)を開催し、地元への就職を促進した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 就職フェア参加者:204人 採用者:29人 (2回開催)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
事業費合計	11	273	国庫支出金	
	12	269	府支出金	未来づくり交付金 200
	14	57	起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	399
			合計	599

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 今年度は、初めての試みだったが、参加者も採用者も申し分ない結果を得られた。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 就職フェアを開催するためには、これ以上の削減の余地はない。 ○ × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し 理由 公共職業安定所の協力のもと、就職フェアを開催し、就職促進を図る。 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 B A 事業拡大 B 現状維持 理由 就職フェアを開催することで、事業所の情報提供、地元への就職の促進を図る。 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	03	03
細事業名	商工業支援事業(製造・加工業経営革新等推進事業補助金)					

担当部局	担当課長の氏名
商工観光部	新井清宏
担当課等	担当者の氏名
産業雇用総合振興課	宇野浩嗣

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 新事業展開及び業態改善等の主体的経営革新事業を推進し、地域経済の活性化及び雇用の安定を図るため。 事業活用・新事業着手件数 20件 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内製造・加工業を対象に、新事業展開等経営基盤強化やグループ化への取り組み、企業合併等の取り組み、及び異分野への進出に向けた取り組みに対し補助金を交付。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 機械金属関連 2件 食品関連2件 繊維関連1件 計5本交付決定 うち新製品展開4件・新技術展開1件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	5,157	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		5,157
事業費合計		5,157	合計		5,157

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 交付予定件数4件に対し、5件の交付。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 交付予定件数4件に対し、5件の交付。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 交付予定件数4件に対し、5件の交付。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 コスト削減の見地に立つ性質の事業でない。交付上限に満たない決定事業があり、執行残をつくった。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 コスト削減の見地に立つ性質の事業でない。交付上限に満たない決定事業があり、執行残をつくった。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 コスト削減の見地に立つ性質の事業でない。交付上限に満たない決定事業があり、執行残をつくった。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A A 現状維持	理由 継続実施により制度の浸透を図り、今後の競争性を高めたい。
	B B 内容の見直し	
	C C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B A 事業拡大	理由 事業拡大のため必要となる制度改正等ハードルを上げることは難しく、経済対策の意味合いから現段階での縮小も難しい。
B B 現状維持		
C C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	09	01
細事業名		地場産業経営革新等対策事業				

担当部署	担当課長の氏名
商工観光部	
担当課等	担当者の氏名
産業雇用総合振興課	新井清宏
	宇野浩嗣

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 事業者が行なうより価値の高い製品の試作開発、より主体的かつ積極的な販路開拓の取り組みの活発化を図るため、セミナーの実施やバイヤー・連携企業の招へいなど積極的なコーディネート支援を行なう。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) セミナー受講者数 延400人 連携構築 12件

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域の産業が持つ基盤や人材、地域から生み出される製品を資源と捉え事業対象とし、セミナーの実施やバイヤー・連携企業の招へいなどを実施するものであるが、平成21年度は年間を通じた教育訓練等事業の定期実施を進めていたため、講師調整のみを本事業で行ない、本会の実施は他事業展開とした。 また、企業・事業連携の大部分は細節を区別した個別事業として展開した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 講師調整:3人/3回 バイヤー招へい:2人/1回 →商談会出展2社

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	9	177	財源内訳	国庫支出金		
	11	37		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		214
				合計		214

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>×</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 景気低迷が続き内外の事業者がさらなる事業の効率化を進める状況下、度重なるセミナー・研修に対する事業者の負担感や連携調整時の価格志向等が顕在化し、頓着なく進めることが難しい状況。(対消費者への直接展開事業は別)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	×	○ 進捗している(できている)	理由 景気低迷が続き内外の事業者がさらなる事業の効率化を進める状況下、度重なるセミナー・研修に対する事業者の負担感や連携調整時の価格志向等が顕在化し、頓着なく進めることが難しい状況。(対消費者への直接展開事業は別)		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
×	○ 進捗している(できている)	理由 景気低迷が続き内外の事業者がさらなる事業の効率化を進める状況下、度重なるセミナー・研修に対する事業者の負担感や連携調整時の価格志向等が顕在化し、頓着なく進めることが難しい状況。(対消費者への直接展開事業は別)					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>×</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 年間を通じた上記の状況下、必要範囲内での執行のほかは執行残とした。結果的に削減余地ができたものであるが、多重手当てを避けること、状況に応じた執行とすることを前提に予算化は要する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	×	○ 削減の余地がなかった	理由 年間を通じた上記の状況下、必要範囲内での執行のほかは執行残とした。結果的に削減余地ができたものであるが、多重手当てを避けること、状況に応じた執行とすることを前提に予算化は要する。		▲ 少し削減の余地があった	
×	○ 削減の余地がなかった	理由 年間を通じた上記の状況下、必要範囲内での執行のほかは執行残とした。結果的に削減余地ができたものであるが、多重手当てを避けること、状況に応じた執行とすることを前提に予算化は要する。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>現状維持</td> <td rowspan="3">理由 新事業展開を支援する製造・加工業経営革新等推進事業補助金を本細事業に組み替え、事業者が主体的に行なう事業とコーディネート支援を一体的に展開する。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	現状維持	理由 新事業展開を支援する製造・加工業経営革新等推進事業補助金を本細事業に組み替え、事業者が主体的に行なう事業とコーディネート支援を一体的に展開する。	B	内容の見直し	C
A	現状維持	理由 新事業展開を支援する製造・加工業経営革新等推進事業補助金を本細事業に組み替え、事業者が主体的に行なう事業とコーディネート支援を一体的に展開する。					
B	内容の見直し						
C	統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 補助金を組み替え予算化することによる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>事業縮小</td> </tr> </table>	A	事業拡大	理由 補助金を組み替え予算化することによる。	B	現状維持	C
A	事業拡大	理由 補助金を組み替え予算化することによる。					
B	現状維持						
C	事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	11	01
細事業名		人材育成事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井清宏
担当者の氏名	志水丈浩

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京都府北部地域のものづくり産業の振興を図ることを目的とした「丹後・知恵のものづくりパーク」に対し、事業及び施設運営等に必要経費を一部負担することにより事業の円滑な実施を促すとともに、地域産業の活性化を促進する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 地元企業の人材育成の推進

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 北部人材育成会議に参画し、「丹後・知恵のものづくりパーク」で実施される各種研修事業及び施設等の管理運営について、事業実施主体である(財)京都産業21に対し負担金を支払った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	19,212	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		19,212
事業費合計		19,212	合計		19,212

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">ものづくり人材育成、地域中小企業への経営・技術の総合支援等、北部地域のものづくり産業の振興を図るための各種事業の実施を円滑に実施することが出来た。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	ものづくり人材育成、地域中小企業への経営・技術の総合支援等、北部地域のものづくり産業の振興を図るための各種事業の実施を円滑に実施することが出来た。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	ものづくり人材育成、地域中小企業への経営・技術の総合支援等、北部地域のものづくり産業の振興を図るための各種事業の実施を円滑に実施することが出来た。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">丹後・知恵のものづくりパークの運営やものづくり人材育成を推進していたために必要な経費であり、削減することは難しい。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	丹後・知恵のものづくりパークの運営やものづくり人材育成を推進していたために必要な経費であり、削減することは難しい。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	丹後・知恵のものづくりパークの運営やものづくり人材育成を推進していたために必要な経費であり、削減することは難しい。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">北部地域のものづくり産業の振興を図るため、企業ニーズに沿った人材育成事業の実施及び施設管理等に必要な経費を一部負担し、事業の円滑な実施を促進する。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	北部地域のものづくり産業の振興を図るため、企業ニーズに沿った人材育成事業の実施及び施設管理等に必要な経費を一部負担し、事業の円滑な実施を促進する。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	北部地域のものづくり産業の振興を図るため、企業ニーズに沿った人材育成事業の実施及び施設管理等に必要な経費を一部負担し、事業の円滑な実施を促進する。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">人材育成事業及び施設運営管理等に必要な最低限の経費を負担しており、引き続き北部地域のものづくり産業の振興を図り、地域産業の活性化を促進する。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	人材育成事業及び施設運営管理等に必要な最低限の経費を負担しており、引き続き北部地域のものづくり産業の振興を図り、地域産業の活性化を促進する。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由	人材育成事業及び施設運営管理等に必要な最低限の経費を負担しており、引き続き北部地域のものづくり産業の振興を図り、地域産業の活性化を促進する。					
B	B 現状維持							
C	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	01
細事業名		丹後地域地場産業振興センター運営費補助金				

担当部署	担当課長の氏名
商工観光部	
担当課等	担当者の氏名
産業雇用総合振興課	新井清宏
	志水丈浩

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 2 各産業の連携の強化(四位一体型)
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 丹後地域における地場産業の振興を図るうえで必要な事業を行い、もって地場産業経済の活性化と地域住民の生活向上に寄与することを目的とする。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の目的	平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 丹後地域地場産業振興センターの施設運営管理のほか、地場製品のPR、販路拡大、新商品開発、人材育成、情報収集・提供等、地場産業の振興を図るための各種事業に対する補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) Tango Good Goods認定(21年度): 認定者数38社 認定点数70点 Tango Good Goods認定累計(19~21年度): 認定者数94社 認定点数258点

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	31,140	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		31,140
事業費合計		31,140	合計		31,140

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">具体的効果、数値効果を計ることが難しいが、販路拡大のための販売促進支援、新たな顧客確保など事業計画に即した事業が実施できている。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	具体的効果、数値効果を計ることが難しいが、販路拡大のための販売促進支援、新たな顧客確保など事業計画に即した事業が実施できている。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	具体的効果、数値効果を計ることが難しいが、販路拡大のための販売促進支援、新たな顧客確保など事業計画に即した事業が実施できている。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">丹後地域における地場産業の振興を図る上で必要な事業を行っているものの、社会情勢を取り巻く状況は日々変化しているため、取り組み事業の再検討も必要である。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	丹後地域における地場産業の振興を図る上で必要な事業を行っているものの、社会情勢を取り巻く状況は日々変化しているため、取り組み事業の再検討も必要である。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	丹後地域における地場産業の振興を図る上で必要な事業を行っているものの、社会情勢を取り巻く状況は日々変化しているため、取り組み事業の再検討も必要である。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地場産業の紹介や販路拡大、新商品開発のほか、積極的な地場産品の販売促進の継続、また、安定した地場産センターの運営事業の継続を図るためにも、現状維持していくことが必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	地場産業の紹介や販路拡大、新商品開発のほか、積極的な地場産品の販売促進の継続、また、安定した地場産センターの運営事業の継続を図るためにも、現状維持していくことが必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	地場産業の紹介や販路拡大、新商品開発のほか、積極的な地場産品の販売促進の継続、また、安定した地場産センターの運営事業の継続を図るためにも、現状維持していくことが必要である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地場産業の振興を図る上で、効率的な運営を行うため、職員体制に応じた事業の再検討も必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	地場産業の振興を図る上で、効率的な運営を行うため、職員体制に応じた事業の再検討も必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	地場産業の振興を図る上で、効率的な運営を行うため、職員体制に応じた事業の再検討も必要である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	04	01
細事業名		企業誘致雇用創生促進事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井清宏
担当者の氏名	宇野浩嗣

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 3 工業団地の造成と積極的な企業誘致
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 企業立地(企業・工場の新増設や誘致)を促進し、地域内の企業成長に伴う雇用機会の拡大など市民生活の充実・発展と、産業横断的な地域経済の活性化を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 新增設・誘致件数 5件 雇用拡大 500人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 企業立地が推進される活動を対象に、企業の意向調査、企業訪問、企業情報の把握、関連制度・施策の検討、京都府との連携などを実施。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) DM送付:2009件 意向調査送付:12,039件 その他企業訪問 DM回答:72件 意向調査回答:1,378件 新增設・誘致実績:オフィス1件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	605	国庫支出金		
	11	149	府支出金		
	13	1,439	起債		
	14	632	分担金・負担金		
	18	30	その他		
	19	80			
事業費合計		2,935	合計		2,935

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>×</td> <td>○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)</td> <td>理由</td> <td>作業としての実績はあげているものの、事業目的を果たす実績・効果に至るまでには程遠い。</td> </tr> </table>	×	○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)	理由
×	○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)	理由	作業としての実績はあげているものの、事業目的を果たす実績・効果に至るまでには程遠い。	
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>×</td> <td>○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった</td> <td>理由</td> <td>作業量のボリューム維持、継続性を要する事業であるものの、実績・効果に至る効率性は改善の余地がある。</td> </tr> </table>	×	○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	理由
×	○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	理由	作業量のボリューム維持、継続性を要する事業であるものの、実績・効果に至る効率性は改善の余地がある。	

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	市における定住面での魅力、経済面での競争力、市の自立性など多方面にわたる観点から、継続的な事業実施は必要となる。
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	直近に新工業団地の完成もあり、重点的に進める時期である。



平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-13

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	04	02
細事業名		工場立地奨励金				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井 清宏
担当者の氏名	蒲田 真穂

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 3 工業団地の造成と積極的な企業誘致
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内における工場の新設及び増設を促進することにより、雇用の拡大を図り、もって本市の産業の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入)
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内立地企業に対して、京丹後市工場立地促進条例の規定に基づき、従業員規模により3千万円または5千万円以上の設備投資を行い、かつ常用雇用者を3人以上増加させた企業に対して、固定資産税相当額を工場立地奨励金として交付した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 交付件数 6事業所 交付総額 9,085,800円

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	9,086	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		9,086
事業費合計		9,086	合計		9,086

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 理由 多くの事業者に積極的に活用していただいており、順調に進捗している。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 理由 企業誘致に関する支援制度は、益々重要度を増していく。今後、より充実させていくべき事業であり、コスト削減の余地はない。

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 なお一層の産業集積が重要課題といえるため、今後も市による企業立地支援制度は不可欠である。
	事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 企業誘致に関する支援制度は、益々重要度を増していく。今後、より充実させていくべき事業である。

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	04	04
細事業名		工業団地維持管理事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井 清宏
担当者の氏名	柳内 研一

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 3 工業団地の造成と積極的な企業誘致
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 工業団地の水路清掃、草刈、修繕等、環境美化に努め、魅力的な立地環境を維持する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 工業団地内の水路清掃、外灯修繕等を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	37	国庫支出金		
	13	39	府支出金		
	14	3	起債		
			分担金・負担金		
			その他	公有財産使用料	13
			一般財源		66
事業費合計		79	合計		79

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)
	理由 土砂等、堆積物の除去、外灯修繕等により適切な維持管理が図られた。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった	
理由 必要最小限の範囲で実施。	

ACTION	
改善	事業内容の方向性
	A 現状維持
	B 内容の見直し
	C 統廃合・休止・終了
	理由 現場状況を把握しながら、必要に応じて実施していく。
	事業規模の方向性
B 現状維持	
C 事業縮小	
理由 現場状況を把握しながら、必要に応じて実施していく。	

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-15

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	10	01
細事業名		工業用地造成事業特別会計繰出金				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井 清宏
担当者の氏名	柳内 研一

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 3 工業団地の造成と積極的な企業誘致
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 森本工業団地造成事業について、地方債償還金等、一般会計からの繰出しを行い事業の推進を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 森本工業団地造成のための工業用地造成事業特別会計に対し、地方債償還費用等に充当するため、56,000千円の繰出しを行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	28	56,000	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		56,000
事業費合計		56,000	合計		56,000

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 必要な予算に対して繰出しを行った。 <input type="radio"/> × 遅れている(できていない)
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> ▲ 少し削減の余地があった 理由 必要な予算に対して繰出しを行った。 <input type="radio"/> × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性
	<input type="radio"/> A 現状維持 <input type="radio"/> B 内容の見直し 理由 地方債償還の終了までは繰出しを行っていく。 <input type="radio"/> C 統廃合・休止・終了
改善	事業規模の方向性
	<input type="radio"/> B 現状維持 理由 工場用地の早期売却を推進のうえ地方債の繰上償還を実施。残額については償還終了まで繰出しを行う。 <input type="radio"/> A 事業拡大 <input type="radio"/> C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-16

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	工業用地造成事業特別会計	01	01	02	01	
	細事業名	工業用地造成事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井 清宏
担当者の氏名	柳内 研一

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 3 工業団地の造成と積極的な企業誘致
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 大宮町森本地区において工業団地を造成し、市内外から立地企業を募り工場用地を販売する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 工場用地の売却

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 造成工事、確定測量業務等を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	29	国庫支出金		
	11	222	府支出金		
	13	22,038	起債	地域開発事業債	529,000
	15	507,099	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		388
事業費合計		529,388	合計		529,388

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 平成22年度完成に向けて工事を行う。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 平成22年度完成に向けて工事を行う。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-21

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	05	01	01	05	01
細事業名		あんしん雇用環境づくり事業				

担当部署	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井 清宏
担当者の氏名	蒲田 真穂

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 事業活動の縮小を余儀なくされた事業者を支援することにより、解雇の徹底予防を図るとともに、事業主の経費負担の軽減を図り、もって市民生活の安定を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 事業活動の縮小を余儀なくされた市内中小企業事業主に対して、その雇用する労働者を一時的に休業または出向させた場合の休業手当等に係る基準賃金額の一部を助成した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 交付件数 987件 交付総額 135,285,624円

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	135,286	国庫支出金	
			府支出金	未来づくり交付金 34,700
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	100,586
事業費合計		135,286	合計	135,286

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">受注減少などに伴う事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援として、国の中小企業緊急雇用安定助成金とあわせ、市独自の助成金を交付することにより、解雇の徹底予防を図ることが出来た。また、事業主の経費負担の軽減を図ることが出来た。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	受注減少などに伴う事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援として、国の中小企業緊急雇用安定助成金とあわせ、市独自の助成金を交付することにより、解雇の徹底予防を図ることが出来た。また、事業主の経費負担の軽減を図ることが出来た。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	受注減少などに伴う事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援として、国の中小企業緊急雇用安定助成金とあわせ、市独自の助成金を交付することにより、解雇の徹底予防を図ることが出来た。また、事業主の経費負担の軽減を図ることが出来た。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民生活の安定を図るため、事業主の経費負担の軽減に努め、解雇の徹底予防を図るためのものであり、削減の余地はまったくない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	市民生活の安定を図るため、事業主の経費負担の軽減に努め、解雇の徹底予防を図るためのものであり、削減の余地はまったくない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	市民生活の安定を図るため、事業主の経費負担の軽減に努め、解雇の徹底予防を図るためのものであり、削減の余地はまったくない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	解雇の徹底予防を図るためにも、事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援が必要であり、本事業内容を見直す必要はない。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	経済情勢に左右されるものであり、当面は厳しい状況であることが予想されることから、事業規模は現状維持していくことが必要である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-22

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	08	01
細事業名		商工業活性化交流事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井 清宏
担当者の氏名	柳内 研一

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域産業の活性化を図るために活動を行なっている『丹後地域産業活性化推進会議』に対し、運営補助を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域産業の活性化を図るために活動を行なっている『丹後地域産業活性化推進会議』に対し、活動分担当として2,000千円の財政支援を行った。(交付先の実績:京丹後への誘客に向けた情報発信事業。営業力・販売力強化のためのセミナー開催等)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	2,000	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,000
事業費合計		2,000	合計		2,000

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">入込観光客の増加に向けて、FM放送による積極的なPR活動を実施するなど、市内産業の活性化に向けた活動が図られた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	入込観光客の増加に向けて、FM放送による積極的なPR活動を実施するなど、市内産業の活性化に向けた活動が図られた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			入込観光客の増加に向けて、FM放送による積極的なPR活動を実施するなど、市内産業の活性化に向けた活動が図られた。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">丹後地域産業活性化推進会議では、自主財源がない中で、関係団体より分担金を徴収し事業実施しているが、結果として繰越金が発生している状況にある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	丹後地域産業活性化推進会議では、自主財源がない中で、関係団体より分担金を徴収し事業実施しているが、結果として繰越金が発生している状況にある。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			丹後地域産業活性化推進会議では、自主財源がない中で、関係団体より分担金を徴収し事業実施しているが、結果として繰越金が発生している状況にある。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION									
改善	事業内容の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">丹後地域産業活性化推進会議への財政支援については、今後も進めていく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	丹後地域産業活性化推進会議への財政支援については、今後も進めていく。		B 内容の見直し		C 統廃合・休止・終了
	A	A 現状維持	理由			丹後地域産業活性化推進会議への財政支援については、今後も進めていく。			
		B 内容の見直し							
		C 統廃合・休止・終了							
	事業規模の方向性								
<table border="1"> <tr> <td>C</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">丹後地域産業活性化推進会議の活動の多様化は期待できるが、市は補助額の縮減を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	C	A 事業拡大	理由	丹後地域産業活性化推進会議の活動の多様化は期待できるが、市は補助額の縮減を図る。		B 現状維持		C 事業縮小	
C	A 事業拡大	理由			丹後地域産業活性化推進会議の活動の多様化は期待できるが、市は補助額の縮減を図る。				
	B 現状維持								
	C 事業縮小								

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-29

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	09	02
細事業名		バイオフィ이버活用型丹後ちりめん新展開事業				

担当部局	担当課長の氏名
商工観光部	新井清宏
担当課等	担当者の氏名
産業雇用総合振興課	宇野浩嗣

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内織物業の構造改善、企業・事業間連携の促進、製品の多様化・高付加価値化を推進する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 新・丹後ちりめんの展開:各素材分野 企業・事業間連携:外部企業1件 外的普及展開:3件
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内織維関連製造業を対象として、植物由来製品(バイオフィ이버)を活用した独自の新製品の開発と、それらを活用した商談会等における普及・販路開拓、主体的な市場間連携の構築を試みる一連事業を展開。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内着手企業:5件 大手企業とのBtoB新連携の構築 国際万国博覧会への製品採用 織研合織賞受賞 新聞掲載15件 テレビ放映2件 雑誌掲載2件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	8	513	国庫支出金	電源地域産業育成支 1,519
	9	676	府支出金	
	11	390	起債	
	13	3,597	分担金・負担金	
	14	1,090	その他	
	19	274		
事業費合計		6,540	一般財源	5,021
			合計	6,540

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">件数実績は順調に推移した。今後、産地全体を通してこのような活動の能動的展開が図られるよう動機を与えていくことが必要。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	件数実績は順調に推移した。今後、産地全体を通してこのような活動の能動的展開が図られるよう動機を与えていくことが必要。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	件数実績は順調に推移した。今後、産地全体を通してこのような活動の能動的展開が図られるよう動機を与えていくことが必要。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">年間計画に基づいた直近の必要経費を予算化した事業であるため、削減余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	年間計画に基づいた直近の必要経費を予算化した事業であるため、削減余地はなかった。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	年間計画に基づいた直近の必要経費を予算化した事業であるため、削減余地はなかった。			
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>C A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">本事業は本来、事業者が個別に進める性質の事業をコーディネートする支援のため、21年度の実績に基づいた事業者による主体的な継続実施を促進し、平成22年度は予算計上は行わない。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	C A 現状維持	理由	本事業は本来、事業者が個別に進める性質の事業をコーディネートする支援のため、21年度の実績に基づいた事業者による主体的な継続実施を促進し、平成22年度は予算計上は行わない。	B 内容の見直し
C A 現状維持	理由	本事業は本来、事業者が個別に進める性質の事業をコーディネートする支援のため、21年度の実績に基づいた事業者による主体的な継続実施を促進し、平成22年度は予算計上は行わない。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由		B 現状維持
A 事業拡大	理由				
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-30

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	09	03
細事業名		国産シルク連携丹後ちりめん新展開事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井清宏
担当者の氏名	宇野浩嗣

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 養蚕業や流通業と連携した一貫通貫のものづくり、消費者によりわかりやすい価値提供ができる仕組みの構築を図るため。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 産地連携基盤の構築 マッチング機会の提供: 3件 繊維関連製造業の業態改善

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) なし (予算額: 272千円)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) なし

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		0	合計		0

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">他課において類似する背景を持った事業が進められ、2元的な事業展開を避けるため、本事業の実施を見送った。(シルクのまちづくり市町村協議会事業)</td> </tr> <tr> <td>× ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	他課において類似する背景を持った事業が進められ、2元的な事業展開を避けるため、本事業の実施を見送った。(シルクのまちづくり市町村協議会事業)	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	他課において類似する背景を持った事業が進められ、2元的な事業展開を避けるため、本事業の実施を見送った。(シルクのまちづくり市町村協議会事業)			
× ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">不執行のため。</td> </tr> <tr> <td>× ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	不執行のため。	× ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	不執行のため。			
× ▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	別事業内で一元的に進める。
	C B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	
B 現状維持			
C 事業縮小			



平成22年度 事務事業評価

整理番号  
7-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	03
細事業名		京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金				

担当部署	担当課長の氏名
商工観光部	
担当課等	担当者の氏名
産業雇用総合振興課	新井清宏
	志水丈浩

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ⑥ 京丹後ブランドの販売戦略 施策方針 3 丹後の魅力発信拠点整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 丹後の魅力発信拠点施設として、丹後の観光、農林水産、地場産品、歴史文化、ものづくりなどの魅力情報の積極的な発信、また消費者ニーズの情報収集等を図ることを目的とする。 事業の目的 (何を対象に、何をしたか) 丹後の観光、農林水産物、地場産品、ものづくりなど、丹後の情報、魅力の積極的な発信と都市との交流を図るため、京都市堀川商店街に設置した魅力情報発信拠点施設(アンテナショップ)の運営や京丹後市PR、ブランド品紹介、販路拡大・促進を推進する取り組みに対し補助を行った。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) ホッと丹後会員数 1,636人(H22.3月末)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	6,000	国庫支出金		
			府支出金	未来づくり交付金	3,000
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		3,000
事業費合計		6,000	合計		6,000

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 理由 京都市内の魅力情報発信拠点施設として2年が経過し、商圈地域住民に認知されてきているとともに、積極的な販売促進活動等により新規販売先の獲得等も図られている。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 理由 既に営業日等の縮小により、人件費等の削減は図っており、現状では削減の余地はない。

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 地場産品のPRや販路拡大のほか、アンテナショップとして積極的な情報発信活動を続けるため、必要な事業である。
	事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 地場産品のPRや販路拡大をより積極的に行うためには、事業拡大は必要と考えるが、事業運営等を図る上では厳しい状況である。